

日 本 史

(問 題)

2015年度

〈2015 H27093319〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時		良い		悪い		悪い
マークを消す時		良い		悪い		悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

古来、日本列島の歴史は、他の地域や国とのヒトやモノの行き来をとおして形成されてきた。

縄文時代の遺跡からは、特定の産地からもたらされたものが出土することがある。このことは、すでに広範な交易ネットワークが形成されていたことをあらわしている。この時代には、人為的な道がつくられていたことが考古学的成果から明らかになっているほか、丸木舟などによる海路での交易も行われていた。

弥生時代には、^b 水稻耕作や金属器などの新しい技術を持った集団が朝鮮半島から渡来し、縄文人と混血しながら弥生文化が形成されていった。水稻耕作が行われるようになったことで、^c 身分の差が生まれ、村どうしは激しく争うようになり、争いの中で小国が形成されていった。やがてそうした小国の王のなかには、^d 中国の皇帝へ朝貢を行い、それを日本列島のなかでの自らの権威強化に利用しようとする者も出てきた。中国の皇帝からもたらされた銅鏡などは、権威の象徴としての意味を持った。

その後、日本列島ではヤマト政権が誕生し、朝鮮半島南部の鉄資源をめぐって、^f 朝鮮半島の諸勢力と争った。鉄を延べ板状に加工した鉄錠が、列島や半島の各地の古墳から出土していることは、当時、いかに鉄が貴重な資源であったかを物語っている。ヤマト政権は朝鮮半島への進出をめざしたが、多くの半島政策は失敗し、最終的には白村江での敗戦により朝鮮半島への影響力を完全に失うことになった。引き続き大陸との関係を重視したヤマト政権は、亡命百済人などの技術を用いて防衛体制を整備し、また律令国家の建設をめざして中国的な諸制度を導入していった。

8世紀になると、遣唐使の派遣が再開され、また新羅、渤海との交流を通じてさまざまな文物がもたらされた。これを背景として^h 国際色豊かな天平文化が花開き、宮廷の文化はより充実したものとなっていったのである。

問1 下線部 a に関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 大分県の姫島は、黒曜石の特産地である。
- イ 長野県の和田峠は、黒曜石の特産地である。
- ウ 北海道の白滝は、ひすいの特産地である。
- エ 新潟県の姫川・糸魚川流域は、ひすいの特産地である。
- オ 大阪府と奈良県の境にある二上山は、サヌカイトの特産地である。

問2 下線部 b に関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 菜畑遺跡や板付遺跡からは、水田跡が見つかった。
- イ 水稻耕作は、弥生中期になると北海道から沖縄に至る日本列島全域で行われるようになった。
- ウ それまでの縄文土器に比べ、薄手で赤褐色の弥生土器が使われるようになった。
- エ 金属器には青銅器と鉄器があり、青銅器は主に祭祀に用いられた。
- オ 荒神谷遺跡からは多くの青銅器が発見された。

問3 下線部 c のような弥生時代の社会状況をうかがうことができる遺跡はどれか、2つ選べ。

- | | | |
|----------|----------|---------|
| ア 唐古・鍵遺跡 | イ 三ツ寺I遺跡 | ウ 黒井峯遺跡 |
| エ 池上曾根遺跡 | オ 大湯遺跡 | カ 亀ヶ岡遺跡 |

問4 下線部 d に関連する記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 『漢書』地理志には、倭人が定期的に楽浪郡に朝貢していたことが記されている。
- イ 『後漢書』東夷伝には、倭の奴国王が金印を授かったことが記されている。
- ウ 『後漢書』東夷伝には、倭の国王帥升が奴隷を献上したことが記されている。
- エ 『魏志』倭人伝には、邪馬台国の女王卑弥呼が親魏倭王の称号を授かったことが記されている。
- オ 『魏志』倭人伝には、邪馬台国が、伊都国との戦争に際し魏の皇帝の権威を利用したことが記されている。

問5 下線部 e の時代の制度や支配のしくみはどれか、2つ選べ。

- ア 健児制 イ 屯倉 ウ 負名体制 エ 氏姓制度 オ 荘園公領制 カ 軍団制

問6 下線部 f に関連して、4～5世紀の日本列島と朝鮮半島の動向について述べた文として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 江田船山古墳出土鉄刀には、朝鮮半島への出兵が記されている。
イ 弁韓地域から百済が成立した。
ウ 馬韓地域から新羅が成立した。
エ 日本列島に朝鮮半島から乗馬の技術が伝えられた。
オ 日本列島に朝鮮半島から仏教が伝えられた。

問7 下線部 g に関連して、律や令について述べた文として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 天武天皇の死後に飛鳥浄御原令が施行された。
イ 戸籍に基づく個別人身支配を定めている。
ウ 地方支配は受領が行うと定めている。
エ 律とは現代の刑法にあたるものである。
オ 官撰の令の注釈書として『令義解』がある。

問8 下線部 h に関連して、正倉院宝物に含まれるものはどれか、2つ選べ。

- ア 両界曼荼羅 イ 阿修羅像 ウ 螺鈿紫檀五絃琵琶
エ 漆胡瓶 オ 鑑真和上像 カ 扇面古写経

Ⅱ 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

近年の中世考古学の進展は目覚ましいものがある。その草分け的存在は、広島県の草戸千軒町遺跡^aの発掘調査で、これにより、この町が室町時代に瀬戸内海の海上交通と山陽道などの陸上交通を結ぶ港湾都市として、おおいに賑わっていたようすがきわめて具体的に明らかにされた。とくに、さまざまな職人^bたちの工房などの遺構が発見され、当時の商人・職人^cたちの生産や生活の実態をかいま見るができるようになったことで、中世商業史や技術史の観点からも注目を集めた。

また、同様の港湾都市では、青森県の十三湊^dの発掘調査により、日本海交易の拠点の具体的な様相が明らかになった点は注目される。十三湊を支配していたのは、鎌倉時代に北条氏の被官となり、蝦夷管領に任じられた 1 であるが、その居館とみられる遺構や町割りのようすがきわめてよく遺存していた。

一方、戦国大名の城下町^eでは、越前の一乗谷^fの発掘調査がよく知られ、大量の遺物と保存状態の良い遺構が多数検出された。この城下町を築いた大名は、自らの分国法において、「朝倉が館の外、国内ニ城郭を構えさせまじく候。惣別分限あらん者、一乗谷へ引越、郷村には代官ばかり置かるべき事」と定めたことで知られるが、遺跡はそうした分国法^gのあり方をよく反映していると言われている。

問1 下線部 a についての記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 川の洪水によって水没した中世都市の遺跡である。
- イ この町ははじめ、西の高台に位置する寺の門前町として発達した。
- ウ 多様な種類の国産陶器のほか、大量の中国産陶磁器が出土した。
- エ 日明貿易船が寄港し、備後国太田荘の倉敷地に指定されていた。
- オ 石敷きの道路をはさんだ町屋や運河など、町割りの遺構が出土した。

問2 下線部 b に関連して、河内国などに多く住み、鍋・釜・鍬など日用の鉄製品を製作した職人たちを何と呼ぶか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 番匠 イ 鍛冶 ウ 鋳物師 エ 大原女 オ 駕輿丁

問3 下線部 c に関連して、当時の商取引における貨幣使用の円滑化を図ろうとした法令はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 撰銭令 イ 徳政令 ウ 分一徳政令 エ 半済令 オ 楽市令

問4 下線部 d を含む本州から、蝦夷地の渡島半島に渡った和人たちにより築かれた館のうち、40万枚近くに及ぶ中国銭が出土した館はどれか、1つ選べ。

- ア 比石館 イ 箱館 ウ 茂別館 エ 花沢館 オ 志苔館

問5 空欄 1 に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 清原氏 イ 安藤氏 ウ 松前氏 エ 津軽氏 オ 武田氏

問6 下線部 e にあてはまる地名として、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 石山 イ 小田原 ウ 山口 エ 堺 オ 春日山 カ 駿府

問7 下線部 f についての記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 大河川の河口地帯に広がる港町であった。
- イ 山城・城下町・港から構成されていた。
- ウ 平城・居館・城下町から構成されていた。
- エ 武家屋敷や商工業者の町屋、寺院などが計画的に配置されていた。
- オ 国内産の多種多様な陶磁器が出土したが、輸入陶磁器は出土しなかった。

問8 下線部 g の意味内容を示す語句として、もっとも適切なものはどれか、1つ選べ。

- ア 喧嘩両成敗 イ 寄親・寄子制 ウ 一国一城令
- エ 百姓の他領への移動禁止 オ 家臣団の城下集住

Ⅲ 次の文章を読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

徳川幕府の初代将軍、家康の在職期間はわずか2年ほどである。これは、^a関ヶ原の戦いに勝利したものの、依然として大坂^bにいる豊臣秀頼は潜在的な脅威であり、幕府による全国支配の体制も未整備であったため、征夷大將軍の地位は代々徳川家が受け継ぐことをあえて示したものとされる。しかしながら、秀忠に将軍職を譲った家康は、その後も大御所として幕政を握っていた。

このようなやり方は、秀忠にも踏襲された。家康の死の翌年、秀忠は全国の大名や 1 に領知宛行状を出し、支配機構としての幕府、その幕政の後継者としての自らの地位を確認すると、早くも6年後には家光へ将軍職を譲り、^c秀忠は引き続き大御所としてさまざまな幕政の基盤強化をすすめた。

その後、^d家光から10代将軍までは、8代吉宗を除き、それぞれの死の年または前年までその地位にあった。^e8代吉宗は、ほぼ30年にわたり将軍をつとめて幕政の改革に尽力した後、死の6年前に子へ職を譲った。また、11代家斉が政權を握っていた時代を一般に「大御所時代」とよぶが、^f将軍在職期間は約50年におよぶ一方で、大御所となってから死に至るまでは4年に過ぎない。

このようにみると、家光の代までに^gほぼ完成をみた幕府のしくみは、基本的に将軍親政のかたちのもと、譜代大名を中心とする老中・側用人らの重臣・側近が重要政務を統括するものであった。翻っていえば、家康・秀忠のふたりが約10年におよぶ大御所政治を展開したことは、幕府の基盤がいかに不安定であったかを示している。

問1 下線部 a に関連する記述として、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ア 背景には、家康の影響の高まりをおそれた五大老のひとり石田三成と家康の対立があった。
- イ 三成は、毛利輝元を盟主として豊臣系大名に呼びかけ兵をあげた。
- ウ 古くから秀吉の部将であった福島正則・加藤清正らが三成の呼びかけに応じたが、戦いに敗れた。
- エ 勝利した家康は、新政権の安定を目的に、西軍についた諸大名の多くを減封にとどめた。
- オ 戦後、家康は諸大名に国絵図と郷帳の作成を命じ、全国の支配者であることを示した。
- カ 戦後、家康は高台寺に秀頼が奉納した釣鐘の銘文を口実に戦いをしかけ、豊臣家を滅ぼした。

問2 江戸時代の下線部 b についての記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ア 大坂の役の後、町はいったん衰微し、秀吉が築いた大坂城も破却された。
- イ 大坂城は幕府の直轄となり、西国大名の動向監視を役目とする城代の役職がおかれた。
- ウ 復興した大坂は全国的な商業・経済の中心地となり、三都のひとつに数えられた。
- エ 大坂を中心とする経済圏では、取引や決済におもに金貨が使用された。
- オ 堂島にできた米市場は、後に米相場所として公認され、全国の米の値段を左右した。

問3 空欄 1 に該当する語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、1つ選べ。

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| ア 大名の家臣・寺社 | イ 大名の家臣・公家 | ウ 公家・寺社 |
| エ 公家・御家人 | オ 御家人・寺社 | カ 御家人・大名の家臣 |

問4 下線部 c の時期の施策として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 大名に対する統制を目的として、元和の武家諸法度を発した。
- イ 江戸と国元を往復する参勤交代の義務を制度化した。
- ウ 寺院や僧侶の統制を図るため、諸宗寺院法度を出した。
- エ 貿易と布教活動を一体とするスペイン船の来港を禁止した。
- オ 中国船以外の貿易船寄港地を、平戸・長崎に制限した。

問5 下線部 d のうち 6 代・9 代に該当する人名の組み合わせとして、正しいものはどれか、1 つ選べ。

- ア 家継・家宣 イ 家継・家重 ウ 家綱・家継
エ 家綱・家重 オ 家宣・家綱 カ 家宣・家重

問6 下線部 e の諮問に答えた『政談』の著者は誰か、1 人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 室鳩巢 イ 太宰春台 ウ 荻生徂徠 エ 野呂元丈 オ 石田梅岩

問7 下線部 f に起こったできごとⅠ・Ⅱ・Ⅲを古い順で並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1 つ選べ。

- Ⅰ 蛮社の獄が行われた Ⅱ 棄捐令が出された Ⅲ 蝦夷地が幕府直轄となった
ア Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ イ Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ ウ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
エ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ オ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ カ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問8 下線部 g についての記述として、誤っているものはどれか、1 つ選べ。

- ア 寺社奉行・勘定奉行・町奉行の三奉行は、有力な旗本から選任された。
イ 若年寄は老中を補佐するとともに、旗本らの統制にあたった。
ウ 幕府の中央職制においては、月番とよばれる交代勤務の制度が設けられていた。
エ 主要な鉱山や江戸を離れた貿易・宗教上の要地には、遠国奉行がおかれた。
オ 幕府領農村の支配を担当するために、代官や郡代がおかれた。

Ⅳ 次の文章を読み、問1～10に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。

1859年から横浜（神奈川）・長崎・箱館の3港で自由貿易が開始されると、日本の貿易額は急速に増大した。^a 主要な輸出産業となった製糸業が発展をとげ、従来の流通機構が崩れるなど、^b 日本の経済・産業の構造も大きく変化しはじめた。

明治政府は、殖産興業政策に力をそそぎ、近代的な産業の育成や^c 国内外を結ぶ通信・交通網の整備を進めた。また、貨幣制度に関しては、1871年に^d 新貨条例を公布し、円・銭・厘を単位とする新貨幣をつくった。

明治初期以降、日本の貿易は、おおむね輸入超過がつづいた。しかし、1880年代前半のいわゆる松方財政のもとで貿易が輸出超過に転じたことや、貨幣・金融制度が整備されたことなどがあいまって、1880年代後半から産業界は活況を呈するようになった。この時期から日清戦争と日露戦争という2度の戦争を経る過程で、日本では^e 産業化の基盤整備が進み、資本主義が本格的に成立・発展した。

明治末期以降、日本経済は慢性的な不況や財政危機に悩まされたが、第1次世界大戦中には、^f 空前の好景気を迎えた。しかし、大戦が終わって列強国の生産力が回復すると、日本の貿易は輸入超過に転じ、1920年には戦後恐慌に見舞われた。その後も1920年代の日本経済は、たび重なる恐慌に直面することになった。

1930年代になると、いわゆる^g 高橋財政のもとで産業界はふたたび活気づき、日本は他の資本主義国に先がけて世界恐慌以前の生産水準を回復した。その後1930年代後半には、大規模な軍備拡張などを背景に、政府が^h 直接的な経済の国家統制に乗り出した。

第2次世界大戦後の占領期の日本では、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の主導により、財閥解体・独占禁止、農地改革、労働改革を柱とする経済改革が進められ、さらにⁱ 経済安定九原則が実施された。その後、1950年に勃発した朝鮮戦争がもたらした「特需」は日本経済が息を吹き返す契機となり、日本は1950年代半ばから^j 高度経済成長の時代に突入した。

問1 下線部 a に関連して、幕末期に日本が外国から輸入していた品の上位5位にふくまれないものはどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

- ア 毛織物 イ 綿織物 ウ 綿糸 エ 石炭 オ 軍需品

問2 下線部 b に関連して、幕府が命じた五品江戸廻送令の対象となった品はどれか、2つ選べ。

- ア 生糸 イ 砂糖 ウ 蚕卵紙 エ 米 オ 茶 カ 蠟

問3 下線部 c に関連する以下のできごと A～E を時期の古い順で並べたとき、正しい組み合わせはどれか、1つ選べ。

- A 三菱汽船会社と共同運輸会社が合併して、日本郵船会社が設立された。
B 日本初の民営鉄道会社である日本鉄道会社が設立された。
C 日本と欧米の間で電信線がつながった。
D 東京と横浜の間で電話の交換業務が始まった。
E 日本が万国郵便連合条約に加盟した。

- ア C→E→A→D→B
イ E→C→A→D→B
ウ C→E→B→A→D
エ E→C→B→A→D
オ C→E→D→B→A
カ E→C→D→B→A

問4 下線部 d の立案において金貨の採用を建議した人物は誰か、1人選べ。

- ア 伊藤博文 イ 大久保利通 ウ 井上馨 エ 木戸孝允 オ 由利公正

問5 下線部 e に関連する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 1880年代後半には、製糸と鉄道の部門を中心に株式会社設立のブームが起こった。
- イ 官営の兵庫造船所が三菱に払い下げられた。
- ウ 貿易金融を主な目的として、日本勧業銀行が設立された。
- エ 池貝鉄工所が、欧米並みの精度をもった旋盤の国産化に成功した。
- オ 日露戦争後の反動として、日本初の資本主義恐慌が起こった。

問6 下線部 f に関連する記述として、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア アメリカ向けの生糸輸出が増加した。
- イ 造船業・海運業が発展し、日本は世界第2位の海運国となった。
- ウ ドイツからの薬品や化学肥料の輸入がとだえたため、これらの国産化が進んだ。
- エ 鉄鋼業では、日本製鋼所をはじめとする民間会社が次々に創設された。
- オ 日本工業倶楽部などの資本家・経営者の団体が設立された。
- カ この好景気によって、日本は債務国から債権国に転じた。

問7 下線部 g を行った高橋是清についての記述として、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ア 憲政会の総裁をつとめた。
- イ 護憲三派内閣において蔵相をつとめた。
- ウ 原敬首相が暗殺された後、後継内閣を組織した。
- エ 田中義一内閣成立後、金輸出再禁止を断行した。
- オ 農村救済を主な目的とする時局匡救事業を行なった。
- カ 蔵相として在任中、五・一五事件で暗殺された。

問8 下線部 h に関連する記述として、正しいものはどれか、1つ選べ。

- ア 経済統制の中心的な機関として、企画院と資源局が合併して、企画庁が設置された。
- イ 輸出入品等臨時措置法では、輸出入品を原料とする製品は対象外とされた。
- ウ 第2次近衛文麿内閣は、国家総動員法を公布した。
- エ 1940年には、すべての労働組合が解散させられ、産業報国会が結成された。
- オ 1940年には、ぜいたく品の製造・販売が禁止され、さらに一部の生活必需品について切符制がしかれた。

問9 下線部 i を実施させるために、アメリカ政府が日本に派遣した公使は誰か、1人選べ。もし該当するものがなければ、カをマークせよ。

- ア マーシャル イ ドッジ ウ ロイヤル エ シャウブ オ ダレス

問10 下線部 j に関連する記述として、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ア 日本は独立後に関税及び貿易に関する一般協定（G A T T）に加入し、その後、国際通貨基金（IMF）にも加盟した。
- イ 岸信介内閣は貿易・為替自由化計画大綱を策定して、本格的な貿易の自由化に踏み切った。
- ウ 池田勇人内閣は、1961年から1970年の間に1人当たりの国民所得を2倍にすることを目指した国民所得倍増計画を策定した。
- エ 1964年に結成された日本労働組合総評議会は、労使協調主義の姿勢をとった。
- オ 1960年代後半には、熊本県の水俣病、富山県のイタイイタイ病などの被害者が企業を告発する、いわゆる四大公害訴訟が起こった。
- カ 佐藤栄作内閣が制定した公害対策基本法は、その後、地球環境問題への対応が盛り込まれた環境基本法に引き継がれた。

V 次の文章および史料A～Dを読み、問1～8に答えよ。解答はマーク解答用紙の該当する記号をマークせよ。なお、引用した史料は一部書き改めたところがある。

前近代から現代にいたる日本の民衆の暮らしや住まい、厳しい生活状況におかれた人々について考えてみたい。

以下の史料Aは、律令制のもとの農民の暮らしを詠んだ 1 の有名な歌であるが、唐の王梵志の詩の翻案として必ずしも実態を描いていないとされる一方で、奈良時代初期に筑前守として赴任した時に実見した農民生活が背景にあるといわれる。古代から近世にかけての民衆の生活は、時期や地域により詳らかでない点も多いが、農民・商人を問わず貧富の差が存在し、社会的な問題とされることがあった。例えば、寛政の改革前後の社会状況がわかる『世事見聞録』からの抜粋である史料Bにも、農村の秩序の乱れについて強い批判の意識を読みとることができる。

史料A 伏廬の 曲廬の内に 直土に 藁解き敷きて 父母は 枕の方に 妻子どもは 足の方に 囲み居て 憂へ吟ひ 竈には 火気ふき立てず 飢には 蜘蛛の巣懸きて 飯炊く 事も忘れて 鶯鳥の 呻吟ひ居るに いのきて 短き物を 端載ると 云へるが如く 楚取る 五十戸良が声は 寝屋戸まで 来立ち呼ばひぬ 斯くばかり 術無きものか 世の道の

史料B さてまたその盛衰の懸隔なる体をここにいふ。(中略) 過分の田畑を持余したるものあれば、耕作すべき地所もなきもの出来、また年貢わづかばかり納めて有余米沢山なるものあれば、年貢米出来ず領主・地頭の咎めに逢ふもの出来、(中略) 家蔵結構、座敷をも襖・唐紙を立て、畳を敷き、絹布を着たるものあれば、屋根漏り、壁破れ、竹の簀子落ち、古き筵切れ、身に覆ふ衣敝れて、飢寒に堪へかねるもの出来るなり。

近代に入ると、いわゆる四民平等の世のもとで生業・経済活動の原則としての自由が認められ、煉瓦造りにガラス窓の建物の普及、新聞・雑誌などの新しい情報メディアが発展するなど、大都市を中心に西洋文明の摂取による経済から生活様式にいたるまでの近代化が推進された。一方で、民衆の日常生活への西洋化の影響は部分的にとどまり、むしろ、経済・生産・流通の大きな変化が進むなかで、都市・農村ともに日々の生計に苦しみ、劣悪な環境のなかに暮らす人々が増えたことは、明治後半に著された以下の史料C・Dからもうかがわれる。

史料C 家の広さも五畳敷なるは稀にして、大概是三畳に土間二尺、狭まきに至っては薄縁二枚の敷合せのみ、甚だしきは二坪の座敷を席の屏風にて中を仕切り、そこに夫婦、兄弟、老嫗と小児を寄せて六、七人纏めて雨露を凌ぐの状況、(中略) この貧窟にあつて渡世する諸職人についてその重なる者を挙げれば、第一に人力車夫その半を占め、日雇取、土方職工、紙屑買を始めとして(中略) 日に儲くる高甚だ些かにして口を糊するに年中の苦艱を免れざるなり。

史料D 其の壁の破れて何処ともなく寒風の吹き入り来る、其の畳もなく押入もなく寝具もなくばんばらばんとしたる板間又は土間の檜(注1)を焚いて家内一同の坐せる、其の干菜二分と米一分位の飯を二度々々(敢て三度々々といはず)の食事とせるが如き点に至っては殆ど皆相同じ、(中略) 今の窮民中には自ら田を作りて凶作に失敗したる者と田は作らざるも凶作の為に賃仕事を失ひたる为生計に窮するに至れるものと二様あり、今の窮民の多くは大抵此の第二種に属するものなり、(中略) 2 ならばこそあれ、明治年代の飢饉は凶作にて米が不足なる為とて生じるが如き単純なる飢饉に非ずと知るべし。

(注1) 檜：カマドや炉にくべる木切れや小枝のこと。

大正から昭和初期には、都市近郊に中流階層の住まいとしての和洋折衷建築が流行し、農村部も含め電灯が普及するなど、生活様式全体の近代化・洋風化が進んだ。この時期、さまざまな社会政策も立案されるようになったが、農村や都市の貧困や住環境の十分な改善には至らなかった。住宅問題にしばれば、国家レベルの指導を背景に広く民衆レベルにダイニング・キッチンや内風呂などを備えた準洋風の住まいが提供されるようになるのは、戦後復興の中で大規模な建設が全国的に行われるようになった 3 の登場をまたなければならなかった。

問1 空欄1に該当する人物は誰か、1人選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 在原業平 イ 山上憶良 ウ 山部赤人 エ 柿本人麻呂 オ 藤原広嗣

問2 史料A・Bに記された内容や、原始・古代から近世にかけての住まいについての記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

ア 旧石器時代の人々は、食料を求めながらの移動生活が多く、テント式住居や洞窟などを住まいとしていた。
イ 縄文時代から古代にみられる竪穴住居は、地面を掘りくぼめて屋根をかけた半地下式住居であった。
ウ 平安時代の貴族の住まいである寝殿造では、屋内の広い空間を間仕切るために几帳、屏風などが用いられた。
エ 鎌倉時代の武士の住まいは、畳を敷き詰めた座敷が襖・障子で仕切られ、後の和風住宅のもととなった。
オ 江戸時代の一般農家は、広い土間と田の字型の高床から成り、畳はあまりみられず木の床がふつうであった。

問3 下線部aに関連して、武士が年貢を収奪する社会を批判し、農本主義の平等社会を唱えた著書はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 『自然真営道』 イ 『老農夜話』 ウ 『夢の代』 エ 『農政本論』 オ 『経世秘策』

問4 下線部bについての記述として、誤っているものはどれか、1つ選べ。

ア 神奈川県令の尽力により、日本初の日刊紙として『横浜毎日新聞』が刊行された。
イ 庶民向けの小新聞の代表である『読売新聞』が、大阪で創刊され人気を博した。
ウ 政治評論を中心とする大新聞として『朝野新聞』が発行され、自由民権の立場を訴えた。
エ 当時の東京・地方の風俗を紹介するグラフ誌として、『風俗画報』が刊行された。
オ 博文館から総合雑誌として『太陽』が発刊され、学者・作家・政界人らが寄稿した。

問5 下線部cと同じく文明開化の時期(1860年代末～80年代初め)に普及が始まったことがらとして、誤っているものはどれか、1つ選べ。

ア 散切り頭 イ 祝祭日 ウ 蓄音機 エ 小学校 オ ガス灯

問6 史料C・Dに記された内容および関連する事項についての記述として、正しいものはどれか、2つ選べ。

ア 史料Cは都市の住まいや仕事について述べたもので、当時の俸給生活者たちの暮らしぶりが描かれている。
イ 史料Dは農村の住まいや仕事について述べたもので、当時の地主・小作間の争議のあり方が描かれている。
ウ 近代以降の都市周辺部には、農村などから流入した人々が定職につけないまま集住する飯場があった。
エ 近代以降の農村の疲弊には、米の凶作のみならず、農民の階層分化や商品経済の浸透が背景にあった。
オ 道路や上下水道の環境改善を図る都市計画法として、明治期に東京市区改正条例が公布された。
カ 農村の窮乏に対して農民自ら救済を図る方法として、明治期に農山漁村経済更正運動が推進された。

問7 空欄2は、浅間山の噴火や長雨などが重なり『凶荒図録』にその惨状が描かれた凶作のことである。該当する語句はどれか、1つ選べ。

ア 寛永の飢饉 イ 天保の飢饉 ウ 寛正の飢饉 エ 享保の飢饉 オ 天明の飢饉

問8 空欄3に該当する語句はどれか、1つ選べ。もし該当するものがなければ、力をマークせよ。

ア 棟割長屋 イ 同潤会アパート ウ 住宅団地 エ マンション オ 文化住宅

[以下余白]

